

新川会通信

第60号

すまいる

発行
社会福祉法人新川会〒930-0362
上市町稗田字七郎谷 1-32
Tel (076) 472-1118
Fax (076) 472-5391
E-mail yotsubaen@nikawakai.jp
HP http://www.nikawakai.jp/

発行責任者 山岸 親史



川平先生の音楽教室♪

6月14日 牧野理事長 退任式にて

長きに渡りお世話になりました。
ありがとうございました。明るい笑顔があふれるところ
豊かな感性を育む

前理事長 牧野 武

本年六月に新川会理事長を退任いたしました。セーナー苑に生活指導員として三十四年勤務した後、新川会に移って二十四年、約半世紀の間、障害者福祉に携わることができたのは、関係の方々のお陰と心より感謝申し上げます。

新川会の支援理念は「明るい笑顔があふれるところ」です。私は、セーナー苑以来ずっと、同僚たちと一緒に、音楽を通じて利用者さんたちとふれあってきました。もともと感性豊かな人々です。下手な伴奏につられて、周りに寄ってきても歌ってくれます。始めは、勝手な調子でバラバラですが、続けるうちに歌らしくなっていくます。歌（合唱）を楽しく歌い聴くためには、競い合うのではなく、お互いの声を聴き、合せなければなりません。また、一番の難問は歌詞を覚えることです。大判紙に振り仮名付きの歌詞を用意し練習します。それから、歌の上手なメンバーには、楽譜のない歌詞カードを色紙の台紙にはって、読み合わせ繰り返し練習を行います。「妙ですねー」。ほとんどの人は文字が不得手です。うろたはしません。でも、老人ホームの訪問等での「本番」ではうまく歌える不思議なツールなのです。一度間違えて覚えてきた歌詞をなおすのは大変です。いつからか、園祭のフィナーレの全員合唱がなくなったことにお気づきですか？「翼をください」、「風になりたい」、「世界にひとつだけの花」…、利用者、職員、ボランティアと一緒にレパートリーを広げていました。

これまで、ミュージックケア研修に希望する職員を派遣し、日中活動や余暇時間に行っていました。鳴子を使ったよさこいは盛り上がります。ミュージックケアはいつでも、どこでもが売ります。

昨年より、月一度、音楽教室の先生に来ていただくことになりました。本格的な発声練習、ピアノ演奏による音楽鑑賞等メニユーのさらなる充実を可能にしてくれます。さらに「クローバーカフェ」に活かしたらどうか？職員のバンドの復活や、トインチャイムや打楽器とのコラボ等々、考えるとわくわくしませんか？

コロナ禍からようやく日常生活を取り戻し、今年の納涼祭は花火も再開すること、元気な歌声で、昨今の暑さも乗り越えてください。

特集

四ツ葉園生活支援センター「小窓」
一年を振り返って

令和6年4月、重度障害の方が地域で安心して暮らせるよう支援することを目的とし開所されてから1年。活動の様子をお伝えいたします。

秋

地域と共に



地域で暮らしながら、毎日安定して通所できるよう、家庭や四ツ葉園、医療機関、相談支援事業所、行動援護事業所とも連携しています。

春

みんなでスタート

開所前には「国立のぞみの園」の視察もし、強度行動障害の方にも対応できる設備を整え、現在16名の利用者の方がご利用されています。利用者の方にとつて不慣れな活動場所となるため、見通しがもてるように班活動を中心に支援をしてきました。



冬

一緒に考える

開所から一年が経ち、利用者さんの想いや得意なことがより伝わってくるようになりました。個性に合わせた支援計画となるよう、個別支援会議は本人も参加し、関係性の向上を意識し、半期ごとに共に達成感が味わえるよう日々取り組んでいます。



夏

活動の充実

夏頃には、小窓での活動もリズムにのってき、おひとりおひとりが楽しく活動に参加されている様子が見られました。パーテーションの設置等、環境を整え、個々に応じたスケジュールの構造化、安心して取り組めるよう配慮しました。個別作業では、感覚機能維持を意識し、運動機能維持のためウォーキングも行っています。



今後も利用者の特性を理解し、質の高いサービスが提供できるよう、また安定した生活が送れるようにチーム一丸となり、2年目に向けて更なる専門性の強化を目指したいと思います。

(渡辺支援員 記)

四ツ葉園だより



【家政班】

今年度の家政班は新たに、「さくらの会」の方に、編み物を教わっています。編み物をしたことがある方も初めてされる方もみんなで楽しく意欲的に活動しています。いつか素敵な作品が出来るよう、職員一同頑張りたいと思います。



【工芸班】

歩行運動、木磨き、SDGsの活動を頑張ります！



令和七年度の班活動で各担当者から活動内容の紹介や抱負をいただきます！

【やまびこ班 男性】

歩行運動を中心に取り組んでいます！天気の良い日には外周歩行や帽子を被って丸山公園まで歩きます。最近はストレッチも取り組み始めました！健康第一！



【やまびこ班 女性】

今年の目標は「楽しく体を動かそう」です。毎日音楽を流しながら体育館や外周歩行に取り組み、天気の良い日には丸山運動公園までの歩行も行っています。元気一杯のやまびこ班メンバー！今年も頑張るぞー！



【あすなろ班】

今年度の目標は、「日中に元気に運動することで、良く寝て良く食べる元気一杯の1日を過ごすための班活動」です。30分程の園外周歩行を行うことで、良質な睡眠と美味しい食事に繋がるようにしています。今後も元気に歩くあすなろ班の活動に職員一同頑張っていきます。

【ほのぼの班】

自分に合った作業や運動を行っています！



今年度も皆が楽しみにしている選外出が始まります！四月の定例会にて利用者さんに行き先を説明し、それぞれ行きたい所を選んでもらいました。行き先について話を聞いたり、写真をみながら「今年度はファミリパーク！」「またショッピングにいききたいけど、ブドウ狩りもいきたいなあ！」など悩みながらも楽しみにしている様子が伺えました。今年度は、土人形作りや今年からJ2に昇格したカタレ富山のサッカー観戦、ぶどう狩りなどいくつか外出先が変更になりました。選外出が利用者さんにとって楽しみの一つとなり、選外出を通して、楽しい経験を積み重ねながら思い出に残るよう取り組んで行きたいと思っています。

(石黒支援員 記)

令和七年度選外出

雷鳥苑だより



農福連携事業

今年度、農福連携事業として舟橋村にある「どろんこ農園」へ四月、五月に苗箱並べ作業をしてきました。「どろんこ農園」代表の古川元規さん、富山県農福連携コーディネーター、富山県農福応援アドバイザーから丁寧に指導をしていただきました。

作業初日は雨風吹く中で作業でしたが、利用者の皆さんは「頑張るよ!」「もう少しだよ」と声を掛け合い、互いを励ました。作業は四日間ありましたが、作業最終日には「もうお終い?」「また、来年!(したい)」



と話され、大変な作業でしたが、引き受けた作業を全てやり終えた達成感と充実感を得られたようです。



プレス機納品

立山町と雷鳥苑保護者会からの助成を受けて、五月二十一日雷鳥苑にプレス機が納品されました。町のリサイクル作業に大切に使用させていただきます。



(長瀬主任 記)

さつき苑だより



さつき苑では様々な木工製品を作成しています。キーホルダーや鍋敷き、コースターなどを作成、販売していますがその中でも鍋敷きは人気があります。幾何学的な模様で人目を惹くものもあれば可愛い犬や猫をモチーフにしたものもよく手に取っていただき称賛されています。特に毎年秋ごろになると家庭で鍋物を食べる季節で鍋敷きが飛ぶように売れます。杉板で作成した丈夫なもので見た目も素敵で大活躍となっています。

その様々な作品を作り上げる立役者は「高林栄樹さん」です。高林さんは糸鋸を上手に扱い丁寧に仕上げておられます。職員もやってみますがこれがなかなか難しく直線を真っすぐに切るだけでも四苦八苦します。細かいコーナーやくり抜きなど朝飯前のような表情でやって見せておられます。切り抜かれた様々な製品は磨きのスペシャリストの皆さんの手によって、よ

りキレイに仕上がります。さつき苑では以前から東京都の「ありがとうショップ」(衆議院会館など)で国会議員バックをモチーフにした菊のコースターを業務委託され作成して販売しています。細かなデザインで作成は難しいですが丁寧な仕事ぶりに売れ行きも好調です。その他にも、最近では細かい技術が評価され多方面から木工製品の依頼が相次いでいます。今後もたくさんの方々の目を引くような作品を届けていきたいと思っています。



糸鋸を使用して丁寧に仕上げています
高林 栄樹さん(写真)

(松岩主任 記)

つつじ苑だより



就労継続支援B型

一人ひとりの力が合わさってのチームワーク

就労継続支援B型では4月より英光商事の作業を行っています。初めての作業に戸惑いながらも、試行錯誤を重ねています。作業は2～3人のチームで行うこともあり、「いくよ」「いいよ」など声を掛け合いながら進めています。チームワークを大切にしながら取り組んでいます。(河合支援員 記)



つつじ苑チャレンジ2025

放課後等デイサービス

小集団活動で「できた」を増やす

放課後等デイサービスでは一人ひとりの個性を大切にしながら、興味や関心を広げて楽しく利用できるように居場所を目指します。今年度は小集団での活動の機会を増やすことで多くの「できた」につなげていきたいです。

(宮本主任支援員 記)



小窓だより

小窓

令和七年四月にて、開所二年目を迎えた小窓です。昨年は、初めてのことはばかりで手探りの一年目でしたが、職員、利用者さんとも、小窓での日課に徐々に慣れてきているところです。

今年度の小窓は、日課や行事を昨年度よりも充実させることを目標としています。日々の班活動やウォーキングに加え、おやつ作り、プレゼント作り、晴天時のドライブ外出等、楽しみとなるような季節の行事や活動を新たに計画しています。利用者の皆さんが小窓で楽しく過ごすことができるよう、今後も支援に努めていきます。

(伊藤沙支援員 記)



グループホームだより

春の遠足

昨年、かわはらだの家の利用者さんから「動物園に行つてみたい」と要望があり、令和七年

四月二十日（日）に「富山市フ



アミリーパーク」へ遠足に行きました。曇り空で少し暑いくらいの気温でしたが、自然に囲まれた広い園内を皆さん元気よく

く歩かれ、様々な動物を見たり聞いたり、またスマートフォンやカメラで写真を撮って思い出に残したりと、それぞれの楽しみ方で動物園を堪能しておられました。

昼食は「ドライブイン茸山」に行き、岩魚定食や山菜定食などお腹いっぱい頂きました。皆さん揃って一緒に外出する機会が少ないグループホームと

いうこともあり、利用者同士の交流や日頃お仕事を頑張っておられる皆さんの心身のリフレッシュになっていたら嬉しいと思います。

ゴールデンウィーク

日中支援で町外への買い物、ドライブ外出をしました。海を眺めながらテイクアウトした昼食を食べ、ゆったりとした時間を過ごしました。またおやつ作りにも挑戦し、フルーツ入りパンケーキを作りました。おやつ作りは今後も定期的に出たらと思っています。

（二口支援員 記）

上手に焼けるかな？



職員インタビュー

今回は、四ツ葉園に勤続十三年の介助員、澤田敏子さんにお話を伺いました。

Q1 どのような仕事をしていますか

A 男性利用者さんの衣類その他の洗濯業務と、洗濯に関連する場所の清掃もやっています。



Q2 仕事をしている中で心がけていることはありますか

A 今日出された洗濯物はなるべく今日中に利用者さんに返せるように一生懸命頑張っています。また、ズボンのゴム替えやボタン付け、ほつれ修理など自分のできることですがやっています。
Q3 仕事で記憶に残っていることは何ですか。

A コロナ前の納涼祭や園祭で利用者の皆様と一緒に炭坑節や上市音頭などを踊ったことが良い思い出です。

Q4 休日はどのように過ごしていますか

A 六十年来の友人たちとお風呂巡りをするのが楽しみの一つで、県内のお花の名所巡りも好きです。最近は井折や馬場島のねまり桜を見ってきました。また、民生委員推進員として、町内の高齢者の方へお声がけをしたり見回りをしたりすることもやっています。

澤田さんは、毎週木曜の喫茶の日にお家から色鮮やかなお花を持ってきてくださいます。各テーブルできれいなお花を見て季節を感じさせてもらっています。いつもありがとうございます。

